

平成18年第5回北秋田市議会定例会行政報告

第5回(6月)議会定例会が開催されるにあたり、3月8日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

市のイメージにふさわしい“花”・“鳥”・“木”の制定に向け、昨年11月から1月までの公募期間を経て、選定委員会(金森 嘉次郎委員長外6名)の厳正な審査の結果、市の花は「あじさい」、市の鳥は「クマガラ」、市の木は「ぶな」とする答申が3月31日市長に対してなされました。

また、北秋田市の基本理念に基づき、「大自然の環境を意識し、人々が仕事に励み、お互いが尊敬し支え合い、活力の息づいたまちづくり」を前面に押し出し、北秋田市が全国に誇れる大自然をテーマに「自然と人との共生」、市民の参画による歴史と伝統を受け継いだ「くらしやすいまちづくり」に向けた市民憲章も同日に答申され4月1日付けで制定されました。

<職員課関係>

平成18年3月31日付けの退職者は18人、これに伴う4月1日付けの新規採用者は、消防本部2人、教育委員会2人、市立阿仁病院1人、また、5月1日付けの採用者は市立阿仁病院1人となっており、5月1日現在の職員数は647人で合併時の職員数と比較し31人(4.7%)の減となっております。

なお、部局別職員数は下記のとおりとなっております。

H18.5.1 現在(人)

部 局	条例定数	現職員数	差 引
市 長 部 局	406	385	21
議 会 事 務 局	6	4	2
教 育 委 員 会 事 務 局	114	110	4
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	4	3	1
監 査 委 員 事 務 局	3	2	1
農 業 委 員 会 事 務 局	4	3	1
消 防 本 部	96	97	1
公 営 企 業 事 務 部 局	10	9	1
市 立 病 院	35	34	1
計	678	647	31

<税務課関係>

平成 18 年度の各税目ごとの当初課税状況は、軽自動車税については課税台数 16,066 台(対前年 131 台増)、課税額が 66,929 千円(対前年 1,660 千円増)となっており、また固定資産税は納税義務者数が 17,440 人(対前年 358 人減)、課税額は 1,532,846 千円(対前年 77,096 千円減)となっております。

企 画 部

<総合政策課関係>

4 月 21 日、合併記念行事として、文化会館において「NHK ラジオ深夜便のつどい」の公開録音が行われました。県内外から訪れた約 300 人の聴衆は、「こころの時代」、「アンカーを囲むつどい」などの講演に熱心に耳を傾けておりました。

秋田内陸線再生計画に基づき、平成 18 年度以降の乗車運動を推進するため、今年度から阿仁支所内に推進チームを設置し、2 名の専任職員で対応しております。今後市内 4 地区の各種団体関係者を訪問し、乗車運動の協力要請を行う予定であります。また、仙北市の庁舎内プロジェクトチーム 23 名が内陸線を利用し、阿仁及び森吉地区の観光名所を視察しながら協力支援を図るための実体験を行いました。

集中改革プランで示した市の組織機構を見直すために、庁舎内に「組織・機構改革推進検討委員会」を設置し、今後の市のあるべき組織・機構を協議しております。

5 月 23 日、北秋田地域振興局と北秋田市の意見交換会が北秋田総合庁舎で開催され、県と市それぞれの懸案事項や要望事項について協議を行いました。

5 月 25 日、合併した北秋田市全体の土地利用を進めるため、市国土利用計画策定の意見交換会が民間 10 団体の参加により開催され、各団体から土地利用についての幅広い意見が出されました。

旧阿仁町の首都圏在住者で構成されております「ふるさと阿仁会」が発足から 20 周年を迎え「ふるさと阿仁会 20 周年記念式典」が 6 月 10 日に東京都内で開催される予定であります。

<財政課関係>

平成 18 年 4 月 1 日から 5 月 31 日までの工事等の発注状況は、別紙のとおりとなっております。

工事等発注一覧表

500万円以上（消費税含む）

平成18年4月1日～平成18年5月31日

工事名（業務名）	契約年月日	契約額（千円）	請負業者名
鷹巣地区家庭ごみ収集運搬業務委託	H18.4.1	170,604	北秋田清掃協同組合 3年契約
鷹巣地区公共施設ごみ収集運搬業務委託	H18.4.1	16,800	(株)大川建設 3年契約
クリーンサイクルセンター焼却施設運転管理業務	H18.4.1	6,227	東北ビル管財(株)
クリーンサイクルセンター1,2号炉耐火物補修工事	H18.4.24	19,950	ユニチカ(株)
市民生活部 4件	/	213,581	
浄化センター維持管理業務委託	H18.4.1	48,090	山岡工業(株)
面整備工事（阿仁合処理区その6）	H18.4.17	6,948	(有)鈴謙
建設部 2件	/	55,038	
北秋田市あんしん電話事業委託	H18.4.1	7,209	北秋田市社会福祉協議会
北秋田市立児童館運営管理業務委託	H18.4.1	34,553	北秋田市社会福祉協議会
子育てサポートハウス業務委託	H18.4.1	11,960	北秋田市社会福祉協議会
福祉事務所 3件	/	53,722	
長期山村留学企画指導業務委託	H18.4.1	7,908	(財)育てる会
森吉中学校・米内沢小学校スクールバス 運行業務委託	H18.4.1	10,138	秋北バス(株)
北秋田市民プール用備品 （トレーニング備品ほか）	H18.4.13	12,705	(有)タナカスポーツ
平成18年度阿仁吉田特設アーチェリー競技場 整備工事	H18.5.10	16,275	古河林業緑化(株)
教育委員会 4件	/	47,026	
鷹巣斎場火葬等業務委託	H18.4.1	5,985	東北ビル管財(株)
排水維持工事（市道 旭ヶ丘団地線）	H18.5.19	5,092	(有)三浦組
鷹巣支所 2件	/	11,077	
小型合併処理浄化槽清掃維持管理業務委託	H18.4.1	10,360	(有)鷹阿二清掃興業
阿仁地区家庭ごみ等収集運搬業務委託	H18.4.1	16,800	秋田北クリーン企画
阿仁支所 2件	/	27,160	
合 計 17件		407,604	

市民生活部

<生活環境課関係>

北秋田市豪雪対策本部から移行設置しておりました「雪害警戒対策室」は4月19日午前9時をもって廃止しております。県への平成18年豪雪の最終的な被害報告件数は、屋根雪下ろし中の転落等による人的被害22件、住宅被害180件、その他被害（ビニールハウス倒壊等）が67件、合計269件となっております。なお、4月26日付で秋田県下13市間において「災害時における相互援助に関する協定書」を取り交し、大規模な災害が発生した際には、市間の相互で救援等に関して援助、協力し合うことといたしました。

4月23日、春のクリーンアップを市内全地域一斉に実施いたしました。延べ7,950人が地域の環境美化に取り組み、回収処理したゴミの量は約63トン、側溝の汚泥は約48トンとなっております。

6月1日から、従来燃やせないゴミとして回収していたプラスチック製の容器包装ゴミ（廃プラ）の一部について、資源ゴミとして回収することといたしました。これに伴い、リサイクルの対象となるプラスチックゴミ以外のゴミは、可燃ゴミとして排出することとなることから、住民説明会や広報記事などを通じ啓発に努めております。

クリーンリサイクルセンターへの平成17年度ゴミ搬入実績は、約12,278トン（うち北秋田市分は約11,440トン（93.2%））で、前年度実績約12,216トン（うち北秋田市分約11,289トン）と比べ約62トンの増加となっております。（北秋田市分では約151トンの増加）

<医療推進課関係>

統合病院建設のための基本設計作成業者を特定し、3月7日に業務委託契約を締結いたしました。現在、基本設計作成業務を行っており、今後、実施設計の作成へと順次作業を進め年度内に設計業務を終えたいと考えております。

また、病院建設に向けた最終決定機関として、建設委員会を立ち上げました。市議会、県厚生連、市当局、三病院（阿仁、北秋中央、米内沢）の院長らで組織され、これまで4月10日（一回目）及び4月27日（二回目）に会議を開催し、病院建設の根幹に係る決定事項について鋭意協議を重ねております。

指定管理者として予定しております厚生連とは、新病院建設を双方の合同事業として捉え、互いに最大限の協力をする旨の準備協定書を3月30日付けで取り交わしております。今後も細部にわたり遺漏なきよう協議を重ねてまいります。

<阿仁病院関係>

病院事業の平成17年度決算見込みは、入院患者増による病床利用の増加と外来診療単価の改定によって、医業収益では前年度と比較し2,680万円の増収となっており、単年度の事業収支では3,870万円の純利益となっております。

今後、医療情勢を取り巻く環境が一層厳しくなる中で、信頼される病院の診療体制を目指すとともに、経営の健全化に向けて鋭意努力してまいります。

<合川診療所関係>

平成17年度の外来利用患者概数は15,454人で前年度と比較し687人(9.5%)増加し、外来診療収入も217,951千円で9.8%の増加となっております。

診療体制の充実を図るため、6月から消化器専門の医師を招き、第1、第3、第5土曜日の診療を予定しております。今後も地域住民の健康を守るとともに安定した経営確保のため力を注いでまいります。

<保険課関係>

国民健康保険事業は、平成18年4月1日現在の加入世帯数8,604世帯(58.2%)、加入被保険者数16,073人(39.9%)で、内訳は一般12,614人、退職3,459人となっております。このうち、70歳以上75歳未満の前期高齢者数は1,654人(一般779人、退職875人)となっております。

また、老人医療受給者証は7,885人(19.6%)へ交付しております。

福祉医療事業については、子育て支援を重点施策として取り組みを推進しており、平成18年4月から「乳幼児医療費の自己負担分全額助成」を行い、より一層子育てしやすい環境づくりに努めております。

福祉医療費実績見込額

制度区分	受給者数	H16年度	H17年度	前年度比
72 高齢身障(4級~6級)	134人	11,738,072 円	13,283,888 円	113.17%
73 重度身障(1級~3級)	358	45,692,890	44,967,142	98.41
74 乳幼児(0歳~6歳)	1,371	55,329,210	47,629,294	86.08
75 ひとり親(母子)	321	6,943,882	7,230,764	104.13
76 ひとり親(父子)	91	1,232,563	1,682,726	136.52
77 高齢身障(4級~6級老保)	425	28,739,365	30,418,841	105.84
78 高齢身障(1級~3級老保)	1,073	77,369,736	87,331,834	112.88
小計	3,773	227,045,718	232,544,489	102.42
80 乳幼児一定以上所得	263		8,131,701	(4,356件)
入院 小学1年~中学3年	(3,017)		1,797,040	(61件)
合計	4,036	227,045,718	242,473,230	106.79

入院対象者人数は、北秋田市の小学1年~中学3年までの人数

<保健センター関係>

成人検診事業については、本年度から 65 歳以上の基本健康診査に加え、新たに介護予防のための生活機能評価が加わり、森吉地区が 4 月 6 日、阿仁地区が 5 月 23 日、合川地区が 6 月 1 日からそれぞれ実施しており、鷹巣地区については 7 月 3 日からの実施予定となっております。

また、介護予防事業として運動機能向上・栄養指導・口腔機能向上の各事業がそれぞれ実施されております。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングは、4 月 28 日、鷹巣地区の「さくらウォーキング」が 155 名の参加のもと、鷹巣中央公園を会場に開催されました。

母子保健事業については、乳幼児健診、育児相談、マタニティー講座等実施しております。

また、献血事業については、年間実施計画のもとに 4 月から実施しております。

<市民課関係>

18 年 4 月末日現在の住民登録者数は、40,300 人で、その内訳は男 19,089 人、女 21,211 人、世帯数は 14,846 世帯となっております。

参考（北秋田市住民登録人口・世帯数）

* H17 年 3 月 21 日現在

総人口 40,989 人、男 19,426 人、女 21,563 人、世帯数 14,897 世帯

* H17 年 3 月 31 日現在

総人口 40,789 人、男 19,313 人、女 21,476 人、世帯数 14,835 世帯

* H18 年 3 月 31 日現在

総人口 40,287 人、男 19,068 人、女 21,219 人、世帯数 14,787 世帯

福祉事務所

<福祉課関係>

生活保護担当

5月1日現在の生活保護世帯数は328世帯448人で、生活保護受給世帯に占める高齢者世帯の割合は46.6%、障害・傷病世帯34.2%、母子世帯4.0%、その他の世帯15.2%となっております。

児童担当

認可保育所の入所状況については、本年5月1日現在市立保育所7園で534人(定員680人)、私立保育所4園で373人(定員350人)、大館市たしる保育園への広域入所が1人で計908人となり前年度と比較し公立で26人の減、私立で5人の増となっております。また、へき地保育所は19人(2園・定員75人)で前年度と比較し3人の減となっております。

すこやか子育て支援事業(保育料免除及び軽減)の対象児童は4月1日現在、入所児童の約7割を占める640人で、保護者の経済的負担の軽減が図られております。また、乳児養育支援金(0歳児が対象)の本年度対象乳児は4月1日現在194人となっており、1歳に達するまで月1万円が支給されます。

子育てサポートハウス「わんぱあく」については、今年度から北秋田市社会福祉協議会に業務を委託しておりますが、在宅で子育てしている親子の交流や一時的な託児、各種子育て相談やミニ講習会などを開催し広く活用されております。昨年度の利用実績は親子の交流で1日平均16人、一時的な託児で1日平均3人、各種相談件数は年間86件となっております。

また、16年度から開設した病後児保育は年間51人の利用(前年比較30人増)で、今後とも施設利用の拡大推進に努めてまいります。

5月1日現在の学童クラブの利用状況は、鷹巣地域で6学童クラブ・171人(前年比較14人増)、合川地域で4学童クラブ・104人(前年比較14人増)、森吉地域で2学童クラブ・117人(前年比較16人の増)、阿仁地域で1学童クラブ・22人(前年比較7人増)が加入しており、全体で414人(前年比較51人増)が利用しております。

「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済的支援として本年度は、74人の児童生徒に一人1万円を交付しております。

「すこやか出産一時金貸付事業」は、子どもを産み育てやすい環境整備の一環として、出産時に多額の資金を要することから、出産予定日の1か月前から出産予定児一人につき30万円を限度として無利子で貸付するもので、昨年度は6人の方が利用しております。

児童手当については本年度から制度が拡充され、支給対象年齢が小学校3年生から、小学校6年生(12歳到達後最初の年度末)までに拡大され、併せて所得制限が引き上げられました。新たに該当となる世帯は認定請求の手続きが必要となりますが、本年9月30日までに受け付

けたものについては、特例的に4月1日に遡及し支給いたします。市では事務を円滑に行うため、支給対象予定者に請求用紙を事前送付し受付けを開始しております。当該予算については、今定例議会に上程しておりますが、財政面では、事業主負担を据え置き、国は国庫負担割合を減じ、県、市町村負担を増加させる内容としており地方負担が増加する傾向にあります。

障害福祉担当

障害者自立支援法が4月1日から施行され、障害福祉サービスについては、居宅支援関係97人、施設支援関係166人が利用者負担の変更とみなし支給決定を受けサービスを利用しております。なお、居宅支援関係については、今後設置される障害程度区分認定審査会による審査を経て10月から新支給決定が、施設支援関係については、事業の新体系の移行に併せて10月以降順次新支給決定が行われます。また、自立支援医療費の支給については、更生医療27人、精神通院医療340人が決定を受け、新たな制度のもとでのサービスを利用しております。

<高齢者支援課関係>

介護保険担当

今年3月にまとめられた第三期介護保険計画・高齢者福祉計画では、今年度からの介護保険料とともに、計画を適切に推進するための委員会の設置や、介護サービス事業所の整備方針などが盛り込まれております。市では、こうした委員会に参加する「公募委員」と今年度整備計画に沿った「開設事業者」を募り、計画の着実な進行を図っております。

地域包括支援センター

介護保険法の改正に伴い、本市では5人体制で地域包括支援センターを4月1日から市地域福祉センター内に開設しました。同センターについては、介護保険法で「保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する」との目的が定められており、福祉事務所、保健センター等との一体的な活動が求められております。具体的な活動としては介護予防事業、介護保険事業以外の支援事業、虐待防止や権利擁護についての事業などが提示されており、各支所や各法人の在宅介護支援センターとの連携を図り、健康で生きがいのある高齢化社会の構築をめざす中核拠点施設としての取り組みを進めております。

産 業 部

<商工観光課関係>

第 55 回桜まつりが 4 月 25 日から 5 月 7 日まで鷹巣中央公園を会場に開催されました。今年 は 3・4 月の天候不順の影響から、雪解けが遅く期間中に桜が開花しなかったことから前年 とほぼ同じ 15,000 人の見物客にとどまりました。

4 月 29 日にオープンした阿仁クマ牧場、遊遊ガーデンのゴールデンウィーク中の入場者数 は、前年と比較し 1,271 人減の 6,686 人でありましたが、打当温泉の日帰り客数は前年と比 べ 1,171 人増の 3,855 人となっております。

5 月 3 日、好天にめぐまれ森吉側の森吉山山開きが行われました。約 100 名の市民が参加 し、森吉神社において今シーズンの森吉登山の安全を祈願いたしました。

平成 18 年 4 月末までの中小企業振興資金の利用状況については、融資件数 2 件、融資残高 は 237,744 千円となっております。

<農林課関係>

今冬の記録的な豪雪と、4 月以降の低温、天候不順による農作物への影響が懸念されてお りましたが、5 月に入り天候が回復し、水稻や野菜の生育はおおむね順調に推移しております。

水稻については、播種作業の始期は平年より 3 日遅れ、盛期は 4 月 21 日で 5 日遅れとなり ました。田植作業は、早い圃場で 5 月 14 日から始まりピークは 20 日となりました。田植後 は気象変動に応じた水管理に努めるよう、関係機関・団体等連携を密にし指導してまいり ます。

生産調整については、「売れる米作り」を主体に、それぞれ策定している鷹巣及び阿仁部地 域水田農業ビジョンに基づき、農業者・関係機関が一体となった取組みをしてまいり ます。

また、今年度配分された生産目標数量は、19,929 トン（鷹巣 10,886 トン、合川 4,998 ト ン、森吉 2,872 トン、阿仁 1,173 トン）となっております。

畑作については、トマト・キャベツなどの定植が 1 週間ほど遅れましたが、定植後は、好天 に恵まれ順調な生育となっており、作付面積は、各作目ともほぼ昨年並みとなっております。

新規就農者の確保・育成については、フロンティア農業者育成事業により、昨年に引き続き 秋田県果樹試験場で 1 名、また、今年度から秋田県農業試験場（野菜コース）で 1 名がそれぞ れ研修をしており、北秋田市農業の担い手となりえるよう期待し育成に努めてしてまいり ます。

市営牧場への牛の放牧については、5 月 8 日の鷹巣牧場を皮切りに順次放牧予定であります が、なお一層の肉用牛飼養農家の作業労力と生産コストの軽減のための牧場経営にまい進して まいります。

建設部

<都市計画課関係>

新市都市計画マスタープランの策定は、公募型プロポーザル（技術提案）方式による業者選定を行い、6月中旬を目途に業務委託する予定であります。

都市計画街路事業・太田川口線（元町工区 市施工区間）は、3月末に路線測量・道路設計等を終え、4月26日に関係者に対して事業説明会を開催いたしました。また、その後5月11日付けで知事の都市計画事業認可を得たことから、今後は用地単価の提示とともに用地取得、建物等の補償に係る個別折衝を鋭意進めてまいります。

市営住宅上杉駅前団地整備事業は、国の交付金決定通知が遅れたことから、予算を繰り越して3月29日に工事請負契約を締結し、7月10日の工期内完成を目指して進めております。なお、5月末現在の工事進捗率は1号棟46%、2号棟及び3号棟が42%であります。

<道路河川課関係>

今冬の記録的な豪雪も2月中旬以降は比較的平穏な日が続きましたが、除雪経費に関しては排雪された雪処理なども含めて460,000千円（平成5ヵ年平均232,400千円）となっており、約2倍に増えております。

除雪経費に対する国庫補助金は3月27日付で40,000千円と決定されました。

また、3月から4月にかけては県道、市道などで雪解けによる雪崩が発生し、危険防止のため通行止め解除ができないなど、市民生活や観光客、営業等にも支障をきたしました。

18年度事業で要望した道路事業交付金（4路線）は5月2日付で、また、除雪機械購入（2台）については4月20日付で交付の決定を受け、発注に向け準備作業を進めております。

<下水道課関係>

公共下水道事業の合川処理区については、川井地区及び合川駅前地区の一部について4月1日に供用開始区域を拡大（約4.3ha）し、その面積は合計で約87.5haとなっております。

また、鷹巣処理区については、あけぼの町、掛泥及び本屋敷地区の一部（約22.1ha）を、米内沢処理区においては、長野岱地区（約5.5ha）をそれぞれ5月1日に拡大しております。供用開始区域の合計面積は、鷹巣処理区が約195.2ha、米内沢処理区が約169.3haとなっております。

公共下水道事業における工事の発注状況については、阿仁合処理区において、繰越明許費による阿仁水無地内の面整備工事1件となっております。

農業集落排水事業の合川西地区及び坊沢地区は、平成17年度で整備を完了し、合川西地区については4月1日に供用を開始しております。

水道課

上水道事業については、水道週間にちなんで6月5日から9日までの5日間の日程で、夜間における配水管の洗浄作業を実施しております。この洗浄作業は利用者の皆様に安全で清涼な水道水を提供するために毎年実施しておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

簡易水道事業については、統合簡易水道整備事業の明利又地区（50mm L=1,220m）、合川地区（大野岱 400mm L=330m）、森吉地区（大野岱 100mm L=540m）において、工事発注に向けて測量設計業務に取り組んでおります。

消防本部

<常備消防関係>

平成18年1月から4月までの当市の災害件数等については火災が6件発生し、内訳は建物5件、その他1件となっており、損害額は97,159千円で昨年同期と比較し件数は2件の減、損害額は73,246千円の増となっております。救急救助件数は、救急が481件で昨年同期と比較し44件の増で内訳は急病317件、一般負傷63件、転院搬送49件、交通事故35件などとなっております。救助は19件の出場があり、うち10件で活動し13名を救助しております。捜索件数は2件で1名が死亡発見、1名が生存発見となっております。

職員研修については、4月採用の2名が県消防学校において初任教育研修中であります。

救急救命士養成研修は4月から1名が東京研修所において研修中で、10月中旬に修了いたします。また、本年4月に救急救命士国家試験に合格した1名が病院研修を修了し救急救命士として活動しております。

119番指令台については、火災等災害の119番通報はそれぞれの消防署で受付しておりますが、システムの完成に伴いすべて消防本部で受付しております。

「県民防災の日」の5月26日、大野台工業団地内において地震による劇物漏出を想定した化学災害対応訓練を実施し、万一の有事に際し備えを万全にいたしました。

<非常備消防関係>

春の火災予防運動初日の4月2日、各支団ごとに一斉放水訓練、消防車による予防広報パレード、小型ポンプ等機械器具の点検を実施しております。

阿仁支団が4月1日付けで分団数を13分団から5分団に統廃合したことに伴い、一斉放水訓練終了後阿仁支所において新分団の辞令交付式を行っております。

6月4日米代川右岸において大館北秋田地区水防訓練が開催され、合川、阿仁支団が参加しております。

選挙管理委員会

平成 18 年 3 月 18 日現在における選挙人名簿定時登録者数は 34,220 人でその内訳は、男 15,982 人、女 18,238 人となっております。

教育委員会

<総務課関係>

長期山村留学「まとび学園」は 14 期目を迎え、平成 18 年度は男子 3 名、女子 4 名の計 7 名が入園生として学園での生活を送っております。受け入れ農家の協力のもと、学園内での生活はもとより、小学校、地域において様々な体験や交流を通じ学習にも意欲的に取り組んでおります。

<義務教育課関係>

平成 18 年度市立小中学校、幼稚園の入学（園）式は 4 月 5 日、6 日に挙行されました。

今年度は、幼稚園 10 名、小学校 282 名、中学校 325 名の新入生を迎えておりますが、これにより 5 月 1 日現在の小学校（16 校）の児童数は 1,892 名、中学校（5 校）の生徒数は 1,055 名となり、学級数では小学校が 107 学級、中学校が 40 学級となっております。また、教育に関する調査研究及び教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの総会は 4 月 20 日開催され、本年度の各種研究会・研究推進委員会がスタートしております。

4 月 30 日の綴子小学校を皮切りに市内の各小・中学校での運動会が行われております。中学校においては運動部の春季大会が行われ、鷹巣中学校バレー部女子チームが全県大会優勝という輝かしい成績を収めました。

<高校教育課関係>

合川高等学校の入学式が、65 名の新入生（普通科 19 名、情報ビジネス科 21 名、介護福祉科 25 名）を迎え 4 月 6 日に挙行されました。これにより 5 月 1 日現在の生徒数は、2 年生 93 名、3 年生 81 名を含め 239 名で、科別では普通科 82 名、情報ビジネス科 77 名、介護福祉科 80 名となっております。

また、5 月 1 日現在の寄宿舍入寮者数は男子（清心寮）34 名、女子（心和寮）41 名の合計 75 名となっており、今後も寮生が健全で安心な寮生活ができるよう努めてまいります。

平成 17 年度介護福祉士国家試験の合格者が発表され、本校からは介護福祉科生徒 19 名が受験し、一次筆記試験合格者は 16 名、二次実技試験合格者は 15 名で 78.8%の合格率となり全国平均の 55.1%を大幅に上回る結果となりました。

<生涯学習課関係>

平成 19 年度から平成 23 年度までの社会教育中期計画の策定については、北秋田市基本計画を基に社会教育委員会を中心とした策定委員で策定に着手しております。

国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」と国土交通省森吉山ダム工事事務所の遺跡調査委託を受けている「橋場岱 B 遺跡」の現地調査が再開されました。また、伊勢堂岱遺跡は 5 月 3 日から今年度の一般公開が始まり、休日には伊勢堂岱遺跡ワーキンググループが見学者の案内や説明に対応しております。

高齢者を対象とした生涯学習の一環として、5 月 11 日の合川地区「ことぶき大学」始業式を皮切りに、鷹巣地区「高鷹大学」、前田地区「寿大学」、米内沢地区「老壮婦人大学」、阿仁地区「生き生き大学」の入学・開講式が開催され、約 750 名の受講生による平成 18 年度のキャンパスライフがスタートしております。

<スポーツ振興課関係>

第 44 回河田杯マラソン大会が 4 月 22 日、北秋田市役所前に設けられた特設会場をスタート・ゴール地点に開催されました。それぞれ 13 の競技部門に、県内外から小・中・高・一般・壮年までの男子 134 名、女子 85 名の総数 219 名の参加選手が健脚を競い合いました。

第 45 回全県高校選抜柔道大会、第 9 回全県高校選抜女子柔道大会が 4 月 30 日、男子 24 校、女子 10 校が参加のもと、森吉総合スポーツセンターを会場に開催され、男子の部では合川高校がみごと優勝を果たしました。

昨年 11 月着工した北秋田市民プールの新築工事は、5 月 19 日に竣工いたしました。6 月 3 日からオープンしており、市民の皆さんの健康増進を図る施設として、多彩なイベントを企画し、入館者の利用拡大に努めてまいります。

鷹巣陸上競技場の改修工事は 5 月 19 日に完成し日本陸上競技連盟施設用器具検定員による陸上競技場第 3 種公認検定を受けました。市民の利用は 6 月 1 日から可能となっております。

<国体推進室>

秋田わか杉国体開催の広報 P R 活動の一環として、北秋田市で開催される競技内容を紹介した「ガイドブック」を作成し、市内小中学校及び関係機関に配布いたしました。

4 月 24 日、「秋田わか杉国体北秋田市実行委員会」が森吉コミュニティセンターで開催され、18 年度事業・予算並びにリハーサル大会予算が承認されました。

秋田わか杉国体市民ボランティア募集は、6 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの期間、会場装飾、受付案内、接待等の協力者を募集いたします。

フェンシング競技実行委員会では、5 月 9 日に実施本部を立ち上げ、12 月に開催するリハーサル大会に向け準備を進めております。

アーチェリー競技実行委員会では、リハーサル大会に向けた実施本部を5月2日に立ち上げ、各部門別会議を開催し競技運営に万全を尽くしており、リハーサル大会として6月10日・11日に阿仁吉田特設アーチェリー競技場において開催される「第39回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会」には、選手108名の参加が予定されております。

山岳競技実行委員会では、各専門部会を3月末から延べ11回開催し、運営について検討を重ねております。5月21日には、秋田県山岳連盟が主催する国体運営役員研修会が森吉コミュニティセンターで開催され、岡山県山岳連盟副理事長を招き、運営各部、県岳連、地元実行委員会との業務分担と連携のあり方など研修し、今後の計画などについて事務局と役員間の相互理解が図られました。また、来年7月に開催する山岳競技リハーサル大会成功に向け、5月25日から神戸市で開催された兵庫国体リハーサル大会を視察いたしました。

宿泊関係では、合川地区及び阿仁地区での民泊説明会を随時開催しております。

<公民館関係>

公民館事業については、市民の生涯学習要望に応えるべく学習や趣味を深める場として、各公民館で講座を企画し、多くの受講生を迎え活動が始まっております。

平成18年度は、中央公民館及び鷹巣地区公民館26講座、合川公民館4講座、森吉公民館10講座、前田公民館5講座、阿仁公民館11講座の合計56講座が開講されております。

各講座とも受講生の参加状況は順調で、来年2月まで活動することになっています。